「平和と人権」市民ネットワーク情報　N021-4

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　　2021.4/11

中村哲写真展、市民300人が来場！

◆3月30日～4月2日までの4日間、伊東市役所のロビーで中村哲さんの写真展を開きました。予想をはるかに超える人たちが来場し、写真とテレビ映像を食い入るようにご覧になっていました。数字で賑わいを紹介します。

① 4日間の来場者数はざっと300人ほど
② 会場カンパの金額は12万5,859円
③ 展示した14冊の本のうち13冊が販売された。DVDと合わせて販売金額は26,230円

カンパ金から写真展開催費用(チラシ印刷代や新聞折り込み代、等)をリザーブして、**10万円を福岡市の支援団体=ペシャワール会に送る**ことができました。たくさんの人の善意に心からお礼を申し上げます。

◆盛況だったのはなぜでしょうか

いくつかの要因が考えられます。

① 四日間とも天候に恵まれ、晴天で暖かだった。
② 会場が市の中心・市役所で、展示場所が開放的な空間だったこと。
③ 案内チラシの新聞折り込み、「伊豆新聞」の告知、ポスター掲示、等の広報の力が大きかった。とくに、初日に取材に来た伊豆新聞が、翌日一面に大きく報じたことが大きな効果を生みました。新聞を見て教育委員会に開催期間を問い合わせる人もあった、と聞いています。
④ 最大の要因は中村哲氏の知名度。氏の偉大な活動と不屈な生き方が悲劇的な死とあいまって、伊東市民の敬慕・尊敬・共感を広く集めたのではないかと思われます。それは、氏の事績に共鳴するヒューマンな心を持った人たちが、市の内外にたくさんおられることの証左でしょう。「真心は信じるに足る」という言葉の真実性を見る思いがします。

(ビデオ映像を視聴する人たち)

◆私たちが引き継ぐこと

中村先生は講演や著書の中で「平和は理念ではなく、実態であり、現実の力だ」と述べています。理念として平和を唱えるだけでなく、平和な社会を作るために行動することの必要性を説いているわけです。では、平和な社会を作る行動とは何でしょうか。家族の誰もが生きる糧が得られ、健康な生活を享受できるようになれば、争いの種は無

くなるでしょう。人々の福祉(ウェルフェア)を高める活動が平和的な人と人の関係を作ります。この意味で、平和を福祉に結び付ける活動、より一般化すれば、平和と人権を結びつける活動こそが、平和な社会を作る「現実の力」となるのではないでしょうか。そのために自らの置かれた場で力を尽くすことが、つまり「一隅を照らす」ことの意味だと思います。私たちが中村先生から受け継ぐものは、偉大な生涯とか不屈な闘いといったようなものではなく、人のため何事かをなそうとする志を持った生き方、いわば地の塩としての生き方を実践していくことではないでしょうか。

▼　参観者の感想から　▼

昨年 12 月から NHK で何回も放送された映像を見て、今の大変な時代に心を洗われる様な、救われた様な気持ちになりました。思いがけず伊東市でこのような機会をいただき心からありがたく嬉しく思いました。中村先生が亡くなられたことは残念ですが、志が引き継がれることにホッと致しました。是非応援したく思います。　(T さん)

何の見返りも求めず、ただ手を差し伸べる。世界に誇れる日本人だと思う。医者としてばかりではなく、命を救うために水路工事までする力がすごすぎる。
(O.T さん)

2019 年末に悲報が大きく報道されるまで中村哲さんを知りませんでした。TV で特集を視聴し、医師が大きなショベルカーを操縦して率先して水路を作っている映像が衝撃的だったことを思い出しました。多くの写真と解説を拝見でき、感激しました。(H.U さん)

本当に素晴らしい先生でした。いろいろな生き方があるのだとつくづく感じました。人のため、自分のため、積もって善となる。良心を束ねて川となる。良い言葉でした。
(H.K さん)

待ち望んでいた展示会でした。会期に休日が含まれていたら尚よかったです。(市内でビデオ上映会を開催していただけないでしょうか)
PMS 会報をいただけて本当にうれしかったです。ありがとうございました。(K.K さん)

「平和」は守るから生まれるのか。その前提は、防衛ではなく、人々の衣食住を困窮させないことにあるという見方を教えてもらいました。目の前の問題(現実)の奥にある人々の真の願いに気づくことで偉業が作られていく過程が感動的でした。
(H.Y さん)

ここ伊東では中村哲さんの人生、偉業に共鳴する方がどのくらいいるか、と思っていましたが、会場に来て少しホッとしました。「良心を束ねて大河となす」中村さんの意志が永遠に輝き続けることを祈ります。(M.M さん)

寄稿

悲惨な原発事故から 10 年

北野　幸雄(反原労)

危険な原発依存から、安全で環境に優しい再生エネルギー社会へ

（↑首相官邸前の 20 万の人、2012/6/29）

私が所属する「反原労」が経産省のエネ庁側入り口で脱原発ビラの配布を始めたのは 1979 年の米スリーマイル島原発事故が契機。2011 年 3 月の福島原発事故の前には、あと何年活動を継続できるか、など話し合っていた。

福島原発事故はそんな私たちを「足腰立たなくなるまで活動を」に変え、コロナまでは毎月経産省前で国のエネルギー政策の転換を求めてきた。

福島第一原発事故前のビラ入れは、受け取る経産省職員数は少なかったが、事故直後は一気に増えた。いろんな場所で脱原発のデモが起きていた時期だ。事故翌月の４月には５日と 27 日の例外的に２回経産省ビラを出していて、見出しは「今こそ、原発に頼らないエネルギー政策を」（5 日）「本気で脱原発社会へ　原発に頼らない社会作りを、推進派は退場を」（27 日）で、「日本は脱原発に向かうのでは」と一瞬思ったのがこの頃。

政府（民主党）大臣が「事故は神の仕業」「東電に責任はない」と 5 月には発言し、早くも責任逃れを初めた。ほどなくして原発推進派の巻き返しが開始されることになる。

2021 年現在原発は 9 基稼動可能状態にある。（3 月末現在で稼働は 6 基）すでに 24 基が廃炉決定していて政府のエネルギー基本計画の電源構成比率原発 20%は新規建設しない限り実現不可能な目標だ。しかし、自民党政権は目標値を変更もせず、「新基準に適合すれば再稼動する」と原発推進の構えを崩していない。

再稼動を阻止する有効な手段が「運転差し止め裁判」で、仮処分を含め全国で多くの裁判が闘われている。大飯原発や伊方原発では処分決定で一定期間運転を止めた実績もある。3 月 18 日には東海第二原発の運転禁止判決が水戸地裁で出た。「原発事故時の避難方法が準備されていない中での運転は不可」という画期的な判決で、他の裁判への好影響が期待できそうだ。

（↑官邸前、400 回目の抗議活動 2021.3/26）

今年「エネルギー基本計画」が見直される。菅政権打ち出した「50 年 CO2 実質ゼロ」目標により『経済界は自然エネルギー産業にナダレを打っています。原発の存在感はますます低下、近い将来なくなる。しかし、その前に重大事故が起きたらすべておじゃん。だから再稼動を止める闘いを続けなければならない』（東京新聞、河合弘之「この道」）全く同感だ。

全国でいろいろな脱原発の闘いが続いている。反原労もその闘いの一員として経産省に向けて脱原発の訴えを続けたいと思う。

「変貌する自衛隊」学習会の案内

【趣 旨】

憲法の平和主義を骨抜きにする自衛隊の改編が進んでいます。在日米軍との司令部の統一、共同軍事演習の日常化、基地の共同使用、等々。自衛隊は米軍指揮下の一部隊に編入されつつある、と言っても良いでしょう。戦略面では、『専守防衛』から「敵基地攻撃能力」を保有する自衛隊へと変わりつつあります。際限なく進む日米軍事同盟化に対して、憲法を砦に待ったをかけることができるでしょうか。私たちは、まず自衛隊の今を知り、改憲の動きを現実的な危機としてとらえる感覚をもつことが必要ではないでしょうか。そのため、以下のように学習計画を立てました。皆さん、是非参加してください。難しいことを気軽に学びあいましょう。(チラシを参照してください)

【実施計画】

①第一回：4 月 22 日(木)14:00～(於、ポレポレ)

ビデオ「自衛隊が体験した離島防衛のリアル」視聴

→ビデオを見ての感想・意見交換

②第二回：5 月中旬、「世界」20 年 10 月号所収論文の学習　(展望ギャラリー)

→2～3 の論文の内容報告、質疑

③第三回：6 月中旬、半田滋「先制攻撃できる自衛隊」の学習（展望ギャラリー)

→2～3 の章を決め、内容を報告し質疑応答をする。

④第四回：7 月中旬、「虚構の新冷戦」の学習　(展望ギャラリー)

→章を決め、内容を報告し質疑応答をする。

コロナ禍だからこそ、声を上げよう

5月1日(土)
メーデー
伊東地区集会

・午前１０時半開始

争議支援の取り組み

リレートーク

スローガン提案

コール

終了 11:15、パレード無し

5月3日(月)
憲法集会
～憲法施行 74 年～

・ 14:00 松川公園集合

歌、スピーチ、コール

⬇

コロナと消費税

コロナと暮らし

反原発の声を

核兵器禁止条約批准を

終了 14:45、パレード無し